

生徒心得

～小中連携四項目～

- ① 礼儀正しい行動ができる
- ② 時間やきまりを守ることができる
- ③ 整理整頓ができる
- ④ 自分で学習ができる

1 登 校

- (1) 定められた通学路を正しく通って、登校すること。また、7：55から朝の清掃活動なので、遅れないように余裕をもって登校すること。
- (2) 登校・下校は原則として徒歩通学とする。
- (3) 登校・下校中に知人、友人、集落の方々に出会ったら、明るく、元気よくあいさつする。
- (4) 制服をしっかりと着用し、忘れ物がないか鞆の中身を確認して登校・下校する（置き勉はしない）。

2 生徒集会・学活

- (1) 毎月終わりの火・金は生徒集会です。時間通りに始められるように並んで待つ。
- (2) 朝の会と帰りの会は、決められた内容を係の司会で進める。
- (3) 学活での連絡（先生や係から）はよく聞き、大切なことはメモをする習慣をつける。

3 学 習 ・ 授 業 態 度

- (1) 授業前に、次の授業の準備をすませておく。
- (2) 授業の始め・終わりは、係の合図であいさつをする。
- (3) 家庭で必ず「予習・復習」をして学習に臨む。
- (4) 積極的に「読む」「質問する」「発表する」「ノートをとる」ように努力する。
- (5) 宿題（学習課題等）は、自分の力でやり遂げる。
- (6) 私語を慎み、真剣に取り組む（集中力育成）。
- (7) 正しい姿勢で授業を受ける（健康保持）。
- (8) 必要な学習用具は各自できちんとそろえ、他の生徒に迷惑をかけない。忘れ物をしてしまった場合は、必ず休み時間中に届け出る。
- (9) 授業（学習活動）にふさわしい服装（指定された服）で受ける（心の構え・自覚）。
- (10) 教室移動は早めにすませ、授業に遅れない。

4 休み時間

- (1) 次の授業の準備・用便・係活動の時間とする。
- (2) 室内（教室・廊下）では落ち着いて過ごす。
- (3) 無断で校外に出ない。安全上、忘れ物も取りに帰らない。
- (4) 特別教室・他の学年の教室・小学校の教室に無断で入室しない。
- (5) 給食後の休み時間は、基本的に運動場を利用し元気に運動する。雨天時は、記念館や教室で読書に親しむ。（中学生体育館使用日は火・木のみ）

5 給食

- (1) 手を洗い、当番は給食着とマスクを着用し、健康観察を行って早めに運搬・配膳をさせる。当番でない生徒は席に着き静かに待つ。
- (2) 学校・学級で決められた決まりで給食の準備から片づけまでしっかりする。
- (3) 食事のマナーを大切にす。
- (4) 食器は大事に取り扱い、牛乳パック等の容器をまとめ、後始末をしっかりとす。
- (5) 配膳台は、いつも係できれいにしておく。

6 作業（清掃）

- (1) 体育服に着替え、取りかかりを早く、時間一杯作業する。
- (2) 雨天時の屋外作業は、各教室内の手伝い・窓（ガラス）ふき等をする。
- (3) ゴミは、燃えるゴミ、燃えないゴミに分けて指定の場所にきちんと処理する。
- (4) 用具の後始末をしっかりとす。

7 放課後

- (1) 日直（当番）は、きちんと戸締まりをして、日誌を書いて担任に届ける。
- (2) 下校時刻を厳守し、やむなく残るときは、担任か他の先生に許可を受ける。
- (3) 下校の途中は、寄り道や買い食いをしない。

8 容儀

- (1) ネーム・ベルト・ネクタイ（女子のみ）を正しくつける。
- (2) 場にふさわしい制服・靴の着用をする。
- (3) 所持品を大切に扱う意味からも、靴のかかとを踏まないようにし、靴箱はいつも整頓しておく。

9 所持品・落とし物・金銭等

- (1) 所持品には、学校名、学年、名前等をはっきり書いておく。
- (2) 落とし物をしたたり、見つけたたり拾ったたりしたときは、すぐに届ける。
- (3) 学習に必要なでないものや、不必要なお金は学校に持ってこない。
不要物持ち込みがあった場合には家庭に連絡をして学校で預かる。
保管の難しいものは保護者にとりにきてもらう。
- (4) カッターなどの刃物を持ち込みしない。
- (5) カバンや筆箱を必要以上に装飾しない。
- (6) 学校に納めるお金は、登校したらすぐに担任・副担任に手渡す。
- (7) 物品（お金も含む）の貸し借りや売買をしない。

10 礼儀・言葉遣い・行動等

- (1) 学校を欠席、遅刻、早退等をするときは必ず先生（学校）に届ける。
※ 欠席・遅刻するときは、必ず**保護者**が学校へ電話連絡をする。
- (2) 万一、校舎の施設・設備やガラス等を破損したり、破損箇所を見つけたりしたらすぐ先生に届ける。
- (3) 来校者に会ったら、気持ちのよいあいさつや会釈を心がける。
- (4) 目上の人には正しい敬語を使う。
- (5) 常に目標や反省のある生活を送り、よきリーダーになれるよう努力する。
- (6) 明るくはきはきした応答、素直な心の持ち主になれるよう努力する。
- (7) 仕事を頼まれたら快く引き受け、終わったら「～が終わりました」「～をしておきました」等のことばで締めくくる。

11 課外活動（部活動）

- (1) 原則として顧問の先生が不在の場合は中止とする。（代わりの先生がつく場合は、その指示に従う）。
- (2) 部活動は下校時刻を守り、生徒心得や各部の決まり等をしっかり守る。

12 校外での生活

- (1) 外出するときは、中学生らしい服装を心がける。
- (2) 外出するときは、行き先・用件・帰宅予定時刻等を家の人に告げて出る。
- (3) 夜間外出（日没後外出）はしない。やむを得ないときは、保護者同伴で外出する。
- (4) 友だちなどの家には外泊しない。
- (5) 休み中の子どもたちだけの勝手な遠足，キャンプ，水泳等はない。
- (6) 長期休業中の生活は、別に定める「〇〇休みのしおり」にしたがって行う。
- (7) アルバイトは原則として禁止する。
- (8) エアガンの所持，使用は禁止。。
- (9) 法に反する行為をしてはならない。

例）：自転車の二人乗り，無免許運転，飲酒，喫煙，シンナー遊び，万引き，集落の建物や空き家等への勝手な立ち入り等

- (10) 長時間のメディア（SNS，動画，ゲーム，テレビ等）使用は避ける。家庭で使用のルールを確認し，やりとりを行う際は，思いやりの心を忘れないようにする。

13 体育服

- (1) 本校指定の半袖丸首シャツとハーフパンツとする。
- (2) ジャージは，本校指定の校名入りのジャージとする。
- (3) 体育服やジャージは，体育の授業，清掃作業，遠足，宿泊学習，修学旅行，対外競技等の行事の時に着用する。

14 服装と身なり

- (1) 靴下は，白・黒・グレー・紺色を基調とする。
- (2) 通学用靴は白色の運動靴を基調とする。
- (3) ネームは，学校指定のものとし，左胸ポケット上に着ける。
- (4) 受験や就職活動にも対応できる清潔感のある髪型にする。
- (5) 髪は耳や襟足にかからないようにする。一部を極端に刈ったり伸ばしたり，着色・変色したり，パーマ等をかけたりしないようにする。
- (6) 肩にかかる場合は結ぶ。ヘアゴムやヘアピンの色は，黒・紺・茶とする。
- (7) 眉毛に極端に手を加えることがないようにする。
- (8) 整髪剤を使用する場合は，自宅で使用する。

【**制服**】

[詰襟]

(1) **冬の制服**

- ・上着は、黒の詰め襟で標準学生服を着用する。(ボタン・裏ボタン含む)
- ・ズボンは、黒の標準学生服を着用する。

(2) **夏の制服**

- ・上着は、学校指定の白色半袖シャツ（開襟シャツ）を着用する。
- ・ズボンは、冬の制服に準ずる。

[セーラー服]

(1) **冬の制服**

- ・上着は、本校指定の黒の制服（セーラー）を着用する。
- ・スカートは、本校指定の色（黒）と規格でひだつきのものとする。
- ・寒い時期に黒タイツ・スパッツを、着用してもよい。尚、体育服着用の際は、靴下を着用する。

(2) **夏の制服**

- ・上着は、本校指定の制服を着用する。制服には必ず指定のリボンをつけるものとする。
- ・スカートは、本校指定のスカートを着用する。

※ これらは、ものを大切に作る心、自分で衛生管理を行うための正しい考え方や態度、自分を高めよう・鍛えようという強い心、まわりの人たちへの配慮など、みんなが気持ちよく過ごすための「心得」です。